

SMF with コロナ

ソーシャル・ディスタンス時代のアートを考える

Social distance with closer mind

近年、「芸術の力」が人々の「絆」の形成に有用視される流れが強まりつつある中、私達は2020年コロナ禍の渦中で、芸術家と社会、あるいは芸術と人との関係性を再考する必要に迫られています。ソーシャル・ディスタンスを維持することやオンライン・コミュニケーションの拡がりが増速する状況下において、芸術表現は社会に対してどのような意味や意義を投げかけることができるのでしょうか。SMFでは2020年、専門家を招いて視野を広げる「SMFアート寺子屋」、多様な人々とのカジュアルな対話を通して持続的なアートプラットフォームを形成する「SMFアート井戸端会議」に取り組み、アートの社会的意義や、オンライン時代の展示手法についての継続的な意見交換を通じた「SMFアートの宝船展@SMFアート長屋(オンライン)」を実現します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

SMFアート寺子屋2020

アートプラットフォーム形成のためのメタデザインVI @オンライン

第6回を迎えるSMFアート寺子屋2020では、ハーワード・ガードナーによって提唱されたMI(多重知能)理論と、アーカイブと展示の境界領域からの可能性を柱に、ソーシャル・ディスタンス時代のアートプラットフォーム形成を考えるうえで、芸術表現をその外側から照射することを試みます。

Vol.1:2020年11月15日(日) 13:30~ アート創造・表現の目的再考—MIから捉える芸術表現

・特別講演:石渡圭子(コミュニケーション・横浜国立大学准教授)

MI理論誕生から普及まで:ハーバード教育大学院プロジェクト・ゼロが担う芸術教育

Vol.2:2021年1月10日(日) 13:30~ アーカイブと展示の境界領域からの可能性

・特別講演:松永しのぶ(文化資源学・国立国会図書館)

アートとデジタルアーカイブと —これからの整理・保存・展示について—

SMFアート井戸端会議 @オンライン

SMF(サイタマミュージアムフォーラム)では、隔月1回、「アート井戸端会議」と題し、どなたでも参加可能なミーティングを開催しています。ここでは集まった人の実現したいプランや、情報共有を通して、新たなアイデアを生み出す時間を目指しています。アートの場づくり・アートを通じた交流等に興味がある方大歓迎!どうぞ皆様、お気軽にご参加ください。

2020年10月11日(日) キックオフミーティング

2020年12月13日(日) 寺子屋vol.1の復習と寺子屋vol.2の予習

2021年2月14日(日) 寺子屋vol.2の復習とアートの宝船展に向けた意見交換 各日とも13:30~16:00

SMFアートの宝船展 @SMFアート長屋(オンライン)

「宝船展」は、実現したいと思うアートプロジェクトの素を夢として自由に語り表現するアンデパンダンの展覧会で、だれでも参加できるアートのプラットフォームをつくる活動を2008年から継続してきた SMF を象徴する企画の1つです。これまでも様々な活動がそこで出会ったものの(作品、人間)どうしのつながりから発生し実現されてきました。この企画が継続する事で、アートに親しむ人たちの交流が密になり、埼玉県のアートシーンの人と人とのネットワークによる強い連携が構築出来ると考えています。こうした趣旨を踏まえて、みなさまのご参加をお待ちしています。

2021年3月14日(日) 13:30~16:00 SMFアート井戸端会議特別編:「SMFアートの宝船展@SMFアート長屋」オンライン展示に向けて

2021年3月17日(水)~31日(水) SMFアート宝船展@SMFアート長屋(オンライン)・公開展示

申込み方法は裏面をご覧ください。

SMFは身近な場所でアートを享受し支援し再創造するプラットフォームをめざしています。



SMF with コロナ

ソーシャル・ディスタンス時代のアートを考える

Social distance with closer mind

コロナ禍に苛まれた2020年、実演や展示をまじえたりリアルな空間における人々のコミュニケーションがきわめて困難になっています。多くの公演・展示が延期されていくなか、私達はオンラインによるコミュニケーションを通じて、リアルな空間では出会うことのない多様な視線の集合体が、新たな生活様式を模索しているのを体感しています。

SMFでは、現在の創作や展示や公演等の芸術文化表現がオンライン上での実施を余儀なくされている現状から、その状況を受け止め、このような状況下での新たな表現手法や表現を通じた社会的な繋がりを構築するための知見を獲得する必要があると考えています。そのためには、SMFが2008年の結成以来、アートを多様な人々と共に創造するアート・プラットフォームの形成に取り組み、多くの大型芸術祭を主催した他、SMFフォーラム(毎月開催)、SMFアート井戸端会議(隔月開催)、SMFアート寺子屋(2012年以降5回実施)、SMFアートの宝船展(毎年開催)、SMFアート長屋の設営(ウェブ空間での表現領域の構築、2015年)等を通じ、獲得してきた、埼玉県内の人的物的文化リソースを切り結ぶための知見を動員し、社会に広く情報発信することが有用だと思われます。

2020年秋より実施予定の本事業では、これまでにSMFが実践してきたアート井戸端会議・アート寺子屋・宝船展をオンラインで実施するとともに、アート長屋と有機的に連動させて展開します。また事業そのものの過程をオンライン上で多くの人々と共有していきます。その結果として、埼玉県内でアートに係わる多くの人々のプラットフォームを強化し、COVID-19流行下におけるアートの創造の社会的な意義を改めて模索・共有し、さらなる実践につなげることを目指します。

SMFアート寺子屋2020特別講演者プロフィール

石渡圭子(コミュニケーション・横浜国立大学准教授)



日本MI研究会会長。一般社団法人(一社)トモエそろばんMI協会理事。カーセージ大学(Carthage College)教育学修士課程修了。MI理論実践者として”Multiple Intelligences Around the World”、「多元知能在世界」などで日本におけるMI理論実践について紹介。2003年、2006年ハワード・ガードナー講演会を開催。

松永しのぶ(文化資源学・国立国会図書館)



1983年、アメリカ合衆国ニューメキシコ州生まれ。東京大学大学院文化資源学専攻修士課程修了。2008年国立国会図書館に入館。アート・ドキュメンテーション学会幹事。著書に「デジタル化時代の文化政策」『文化政策の現在3』(東京大学出版会、2018年)、「世界のデジタルアーカイブ実践例」『アーカイブ立国宣言』ポット出版、2014年など。

申込み

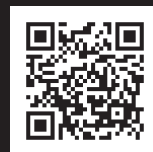
- ①SMFアート寺子屋への参加
- ②SMFアート井戸端会議への参加
- ③SMFアートの宝船展(ウェブ上での展示)への参加

「SMF with コロナ2020参加希望」と明記のうえ、住所・氏名・電話番号・メールアドレスおよび参加希望(上記①～③のいずれか(複数希望可))を記述し、お申し込みください。

申込み先:申込みフォーム、メール、またはファックスでお申し込みください。

申込みフォーム:<https://forms.gle/jh5fsjJtAu3ymgZ17>

ファックス:049-296-5311(東京電機大学理工学部情報システムデザイン学系)



SMF(Saitama Muse Forum):SMFはアートの力で地域とミュージアムを結び、多くの人がつながっていくためのプラットフォームです。SMFでは、趣旨に賛同し、ともに活動して下さる正会員、ご支援くださるフレンド会員(個人)、サポート会員(団体)を募集しています。正会員によるアートフォーラムも毎月開催中です。URL:www.artplatform.jp

- 主催: SMF(Saitama Muse Forum) ●助成: オール埼玉で彩る文化プログラム公募事業 ●協力: 石上研究室(埼玉大学教育学部)、作曲・音楽文化研究室(東京電機大学理工学部)
- コーディネイター: 三浦清史(SMF代表) / 石上城行(SMF運営委員) / 浅見俊哉(SMF運営委員) / 柴山拓郎(SMF運営委員)
- お問い合わせ: 【メール】takuro@mail.dendai.ac.jp(柴山拓郎) 【電話/ファックス】049-296-5572 / 049-296-5311(東京電機大学理工学部情報システムデザイン学系庶務室)